

2022年度 新生銀行グループ リスク選好方針（要旨）

- 新生銀行グループは、SBIグループの一員として経営理念を共有し、新たに策定した中期経営計画「新生銀行グループの中期ビジョン」に基づき、顧客中心主義を徹底し、社会の新たな潮流をいち早く捉え、より革新的なサービス・ビジネスの創出に努めることにより、企業価値の最大化を追求していく。
- 価値共創戦略に内在する固有のリスクや新たな形態のリスクについての的確に把握・検討の上、新生銀行グループを含むSBIグループ各社及びグループ外とのシナジーを追求することにより、顧客基盤の拡大と収益力の向上を実現し、成長を実現する。
- コロナ禍の長期化や資源価格の高騰、歴史的な水準の円安、各国金融政策の転換、地政学リスクの顕在化については特に留意の上で、小口ファイナンス、機関投資家向けビジネス、海外ビジネスといった強みのある分野を深化するとともに、商品・サービス・機能のフルラインナップ化を図ることで、「顧客中心主義」を実現する。
- 金融機関としての社会的責任の意識を強く持ち、新生銀行グループ及びSBIグループが有する事業面の強みを活かすことにより、地方創生に向けた取り組みや環境・社会課題解決へ向けた金融機能の提供、多様な顧客ニーズを充足するサービスの提供を行い、顧客からの信頼向上に繋げる。
- 十分な自己資本比率の確保を前提に、投融資機会の増大に伴うバランスシートの拡大を許容する。
- 以上の施策を推進することにより、中期経営計画最終年度(2025年3月期)には、①先駆的・先進的金融を提供するリーディングバンキンググループとして、②連結純利益700億円を達成の上で更なる成長に向けた基盤を確立し、ひいては③公的資金返済に向けた道筋を示すものとする。